

（世界自然遺産「やんばるの森」を知ってもらおうプロジェクト）

（チーム「うふやんばる」）

プロジェクトチームの目的

沖縄北部に広がる「うふやんばるの森」に関する歴史文化的な背景や都市部に対して森林が提供している価値、「やんばる型森林業」について知っていただくとともに、このことを通じてやんばるが生み出す木材資源の価値を向上させ、様々な人たちに対して、森林・林業等について考えるきっかけを与える。

解決したい課題

- ・沖縄の森林について、ユネスコや希少生物といった認識のみならず、歴史文化的背景の理解を促進する。
- ・「やんばるの森」が都市部にもたらす価値（水源・海への養分の供給源・防災の役割）についても理解を促進する。
- ・人間の経済活動と森林環境の維持のバランスについて振り返り、森林に関する俯瞰的な視野を持つ機会を提供する。

関連するゴール



活動期間

令和8年4月～令和9年3月

おきなわSDGsアクションプランとの関係性

優先課題③

③-1

生まれ育った地域の歴史や文化等を学び、地域への愛着と誇りを持った若者が活躍する社会を実現する。

活動内容 及び 期待される成果

・昨年度に引き続き、沖縄の森林についての歴史文化的な背景、やんばる型森林業という林業の新しい形、というものについての理解を深めてもらうための取り組みを行う。
昨年度実施した視察ツアーをベースに、内容をさらにブラッシュアップした「体験型・対話型スタディツアー」として展開する。
具体的には事前のインプットと、ツアーの中での教育プログラム（ワークショップ）の開発に注力する。
教育プログラムは、将来的には、
対象ごとに内容を整理し、企業向け研修プログラム、学校向け探究学習プログラム、観光・地域づくり人材向け研修などとして展開可能な形を目指す。

【期待される成果】

- ・やんばる地域の森林について、自然環境だけでなく、歴史・文化・産業・暮らしとつながる地域資源として理解を深め、森林環境を多面的に捉える視点を育むことができる。
- ・森林が水源涵養、土砂災害防止、生物多様性保全、海とのつながりなど、都市部を含めた社会全体に多くの恩恵をもたらしていることを再認識してもらうことができる。
- ・うふやんばるの森の歴史やストーリーを知ること、地域木材や関連製品への共感・付加価値向上につながる。
- ・視察ツアーや教育プログラムを通じて、森林保全活動や木材利用、地域との関わりなど、参加者が具体的な行動への第一歩を踏み出すきっかけを創出できる。

プロジェクトチームのイメージ

